

環境配慮事項とねらい

【1】天井全面放射空調システム

- ①空調は天井裏給気チャンバーを介して天井全面のパンチングから室内に供給。
- ②天井面の吹出風速は 0.1m/s 以下のため、低温送風でもドラフトレス。
- ③床吸込口により足元の冷気だまりを解消。
- ④金属天井全面が室温よりも 2~3°C 低下し穏やかな放射環境を形成。
- ⑤室温設定を高くしても、従来空調よりも高い快適性を維持。

【2】分散モジュール型アンビエント照明

- ①照明計画は机上面照度(消費電力)を抑えながら、空間の明るさ感を維持・向上させた計画。
- ②LED 採用による省エネ効果に加え、同じ明るさ感でのアンビエント照明の消費電力を低減。
- ③明るさ感を確保するため、直進性の高い LED の光を天井面(水平)と机上面(鉛直)に分光し、天井面を均一に照射。グレアレスな視環境を実現。
- ④器具の配置はシステム天井モジュールに整合させ、間仕切の可変性やメンテナンス性を確保。

【3】アウトフレームによる庇効果とフレキシビリティ向上

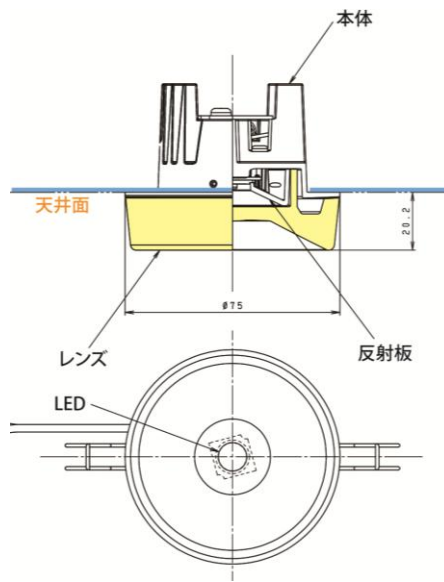
- ①SRC と石貼りによる重厚な構造躯体と奥行き深い外壁開口部、Low-ε 複層ガラスにより、PAL 値 235 を実現。
- ②堅牢な SRC の外周架構とすることにより、オフィス空間に柱型を出さず、独立柱が8本しか存在しない大空間を実現し、フレキシブルな執務スペースを実現。
- ③デスクレイアウトに合わせた電源・LAN の取だし配置を実現するため、3.2m モジュールを 6 分割した 533 角の OA フロアパネル、タイルカーペットを開発。
- ④女性の比率が9割を占めるオフィスであり、階ごとの男女比に応じて男子トイレの小便器ブースを壁で覆ってパウダーコーナーとし、女子化可能なトイレを計画。

【4】大規模な屋上太陽光発電装置・屋上緑化

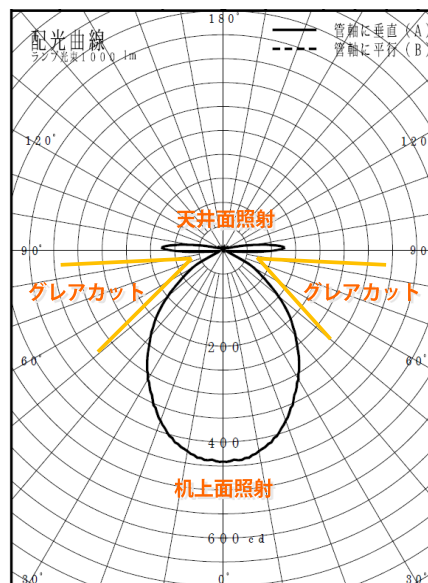
- ①屋上に最大出力 100kW の太陽光発電パネルを設置。事務室2フロアの1年分に消費する電力量相当を発電。
- ②約 1,000 m² の屋上緑化により屋根面の断熱と室外機への日射遮蔽を実現。
- ③屋上緑化の一部にイモの水耕栽培を実施。葉の蒸散作用によりヒートアイランド抑制に寄与。

【5】大規模な緑地と歴史的景観の創出

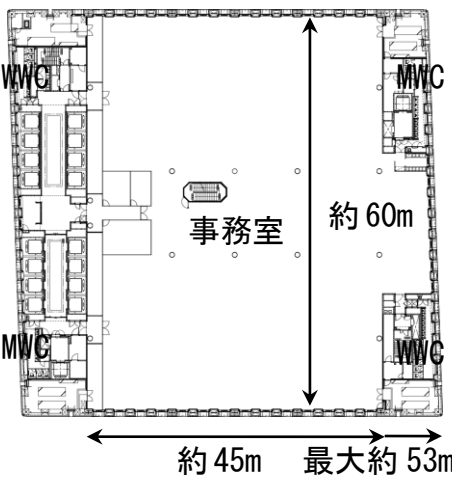
- ①敷地東側に幅 10m の空地を確保。歩道の両側に緑地帯をつくり、緑のアーケードによる歩行者空間を実現。
- ②敷地北側は「適塾」への歴史散策ルートを意図し、並木の中に適塾の塾生の姿をかたどった、歴史をモチーフとした彫刻を複数配置し、本館との意匠的調和を図った外壁とともに歴史と風格ある景観を創出。
- ③敷地西側の緑地帯には、建替え前の旧東館の外構や屋上にかつてあった既存樹を移植し、記憶の継承を図るとともに環境へ配慮。



【2】照明器具断面・見上げ



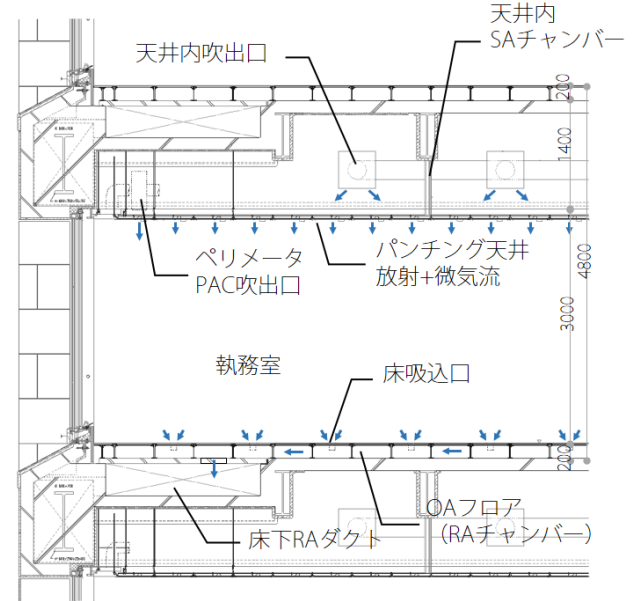
【2】照明器具配光曲線



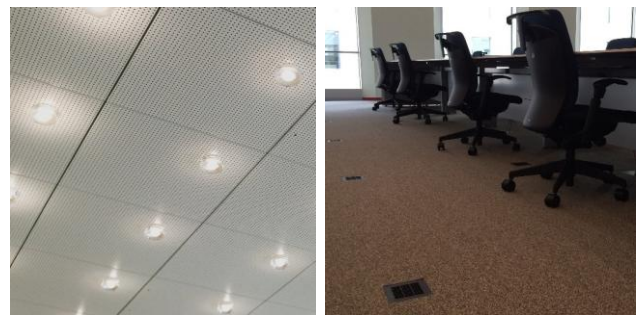
【3】大空間の事務室



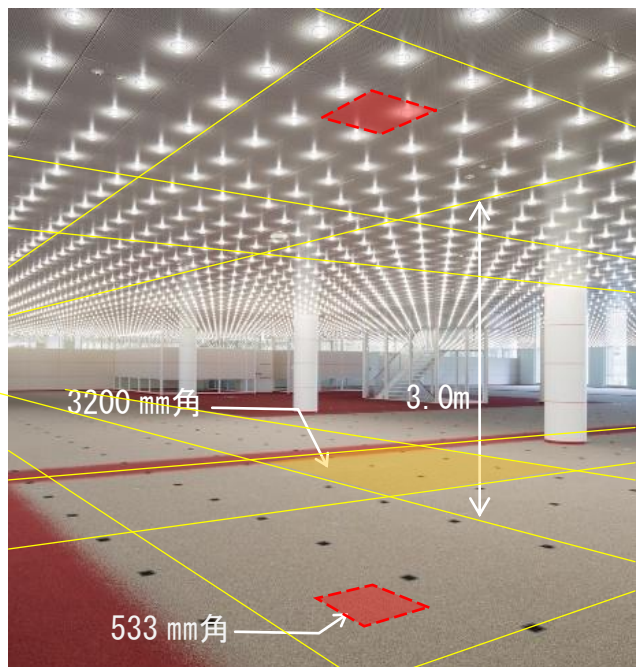
【3】可変性のあるトイレ



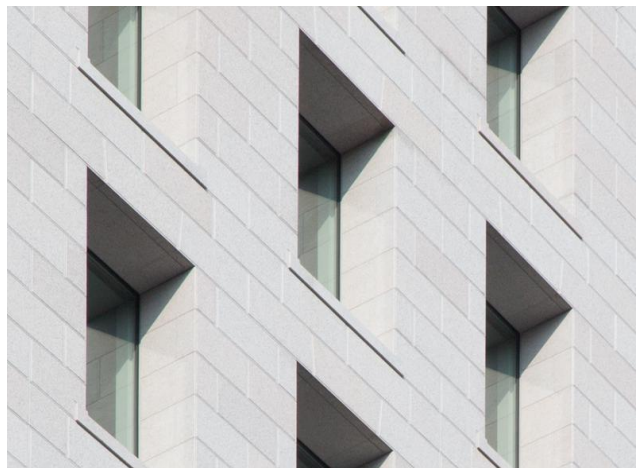
【1】基準階断面



【1】パンチング天井 【1】床吸込口



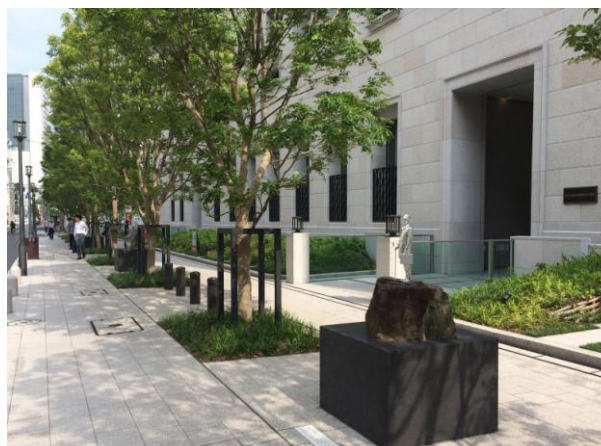
【3】事務室内観



【3】奥行き深い外壁開口部



【5】緑豊かな敷地東側の歩道



【5】歴史をモチーフとした彫刻



【4】太陽光パネル・屋上緑化